

神話スライドset シリーズ

イシスの星

スライド枚数 : 17枚
時間 : 5分17秒
イラスト : 塚田 洋子
ナレーション : 寺瀬 今日子

LIBRA CORPORATION



0. 「イシスの星」

それは、冬の夜空で、もっとも強い輝きを放つ、シリウスのこと。

古代エジプトでは、この星に、女神“イシス”の名を付けて、崇めてきました。

夜明け前の地平線に姿を現すイシスの星は、ナイル川の氾濫の時期が近いことを告げてくれるから。

この星は、彼らにとって、季節の訪れを教えてくれる、大切な星だったのです。

+音変わり



1. オシリスは、4代目のエジプトの神で、直接地上を治め、多くの民に慕われる国王でもありました。妻として、女神イシスをめとり、農業を発明し、エジプトの地に豊かな実りをもたらしていたのです。



2. オシリスには、セトという弟がいました。

セトは、人望に厚い兄をねたんで腹黒い策略を巡らしていたのです。

+音変わり



3. ある宴会が開かれたときのこと、セトは、きらびやかに飾られた箱を持ち出しました。

そして、ぴったりのものにこの箱を贈ろう、といいだしたのです。

家来達が代わる代わる入りましたが、大きさが合いません。



4. セトは、兄オシリスにも入ってみよう勧めました。

しかし、これこそが、セトの罠だったのです。



5. オシリスが、箱の中に入るやいなやセトは、松ヤニでふたを封じ込めナイル川に投げ込んでしまいました。

+音変わり

6. オシリスが、箱に閉じこめられたのを見て、イシスは急いで逃げ出しました。

しかし、セトの手のものが一斉に追いかけてきます。

3



7. そこでイシスは、手に持っていた麦の穂をしごきその実をばらまいて、目をくらましたのです。



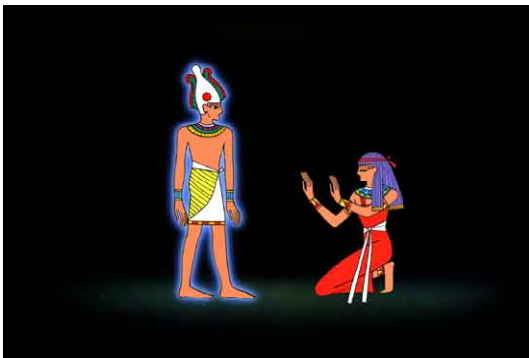
+音変わり



8. ようやく追っ手から逃れたイシスは、泣きながらナイル川のほとりをさまよひ、夫の亡骸を探しました。



9. そして、長い年月の果てに、箱がピプロスというところに流れ着き、イチジクの木となっているのをみつけたのです。



10. イシスは、愛の力でオシリスをよみがえらせました。



11. やがて、二人の間に息子が生まれ、ホルスと名付けられました。

+音変わり



12. しかし、再びセトの魔の手が2人に伸びてきました。

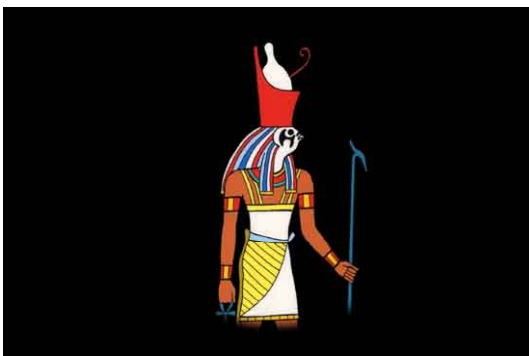
セトは、オシリスをとらえ今度は、その体を14に切り刻み、よみがえりを避けるために別々の場所に捨てたのです。



13. イシスは、それでもあきらめずオシリスの遺体を一つ一つ拾い集めました。どうしても、最後の一つが見つからないので、しかたなく、13の破片をつなぎ合わせ、リンネルの布でまいて、再生の儀式を行いました。



14.ところが、破片がひとつ足りないために、オシリスは、完全な形で復活することは出来ず、冥界の王となりました。



15.そして、イシスは、セトを打ち破って息子ホルスをエジプトの国王とし、自らは、オシリスとともに神となって、ナイルの水を司ることとなったのです。

+



16. この物語は、時を越え、エジプトの人々の中に
生き続けました。
ミイラづくりの風習は、イシスが行った再生の儀式
そのもの。

この儀式によって、エジプトの王は、死後の世界、
つまり星空によみがえるのです。

イシスとともに。